

が ん ば

島三小育友会報
発 行 部
広 報 部

〔第65号〕



元気につっ走る

三小っ子

校内マラソン大会

「一年間を

ふりかえって」

育友会長

前山 四郎



一年経つのは早いもので、はや三月を迎えるようになりました。この一年間多忙な、お仕事のあい間をぬって育友会活動にご尽力下さいましてありがとうございます。

五十六年度出色の事業といましては、方屋が完成いたしましたことと思います。

先日テレビで見ましたが、あの町の小児科のお医者さんが、子供さん達のつちふまさが発達していない。骨がもろいことを憂慮し、自費で土俵を作り、自らも子供さん達の指導にあたられました。また、相撲の練習の前には生活指導と礼儀を教えるという片寄らないものでした。――完成したので、新年度からは十分に御活用いただきたいと思います。

町内訪問も先生方の御協力により、三年目を迎え、御夫婦でのご出席もふえてまいりました。今後とも適正な活発な意見の交換を期待したいと思います。

町内育友会の充実に、子供クラブの御指導に、学級懇談

会で内容検討に、また、専門部活動にと多忙ながら充実した一年間であったと思います。また、家庭での教育を示唆する家庭教育セミナーが、島原南高単位で開かれました。講師の一員であられた森本軍一先生をお迎えして、教養部学級部の主催で、講演会をあらかじめ質問を用意して開きました。お話を聞いておきますと、あまり考えすぎないポイントをおさえておれば充分だとおっしゃっていらつしやるようでした。幕末の偉大な指導者である吉田松陰は、けっして学問だけを教えることなく、お弟子さんの才能・能力を見分けて適応した分野での進路を指導したと聞いております。

日本の学歴社会を変えないかぎり、かたよった物の見方から、のがれられないのかもしれないませんが、子供さん一人一人の能力を見きわめて、長所をのばすように努力したいものだと思います。すばらしい白山地区の子供さんのすばらしい将来のためにも。

現代の親子関係に思え

学校長 江島 九香

私の子供時代を思い出し、現状と比較してみますと、「変わったな」と思われることがあります。

その一は、今の親は過干渉のようです。わずかな朝の登校までの、わずかの時間に母親は何回ぐらい干渉するでしょうか。考えてみて下さい。

その二は、私の子供の頃は近所の大人から叱られるのが日常茶飯事だったし、家では父親が叱るもので、母親はなだめながら私を守ってくれものだと思込んでいたものです。今は逆の姿が多いのではないのでしょうか。つまり、「カミナリ親父」がいなくなつたといえましょう。

その三は、一心に生きることの大切さを教えてくれない親が多くなつたということではないのでしょうか。「いいい」と「だんらん」の姿だけを見て、くらしとは楽なもの、というイメージと構え方がついてしまうようですよ。

およそ、家庭親とは、人間は一生懸命生きねばならない「生存」の意味と、人間は互いに仲良くしなければならぬ「愛情」とは何かを、そして、生きていくためには、何

が正しくて、何が他人に迷惑になるのか、あるいは、してはならないことは何なのかなどの、いわゆる「権威」の基準の、この三つのことを教えねばならない場所であり、つとめだと、教育評論家の安達清先生は強調している。それがどれも不明瞭になっているのが、現代の家庭であり、親子関係とみてよいのではないのでしょうか。

しかし、親子の血縁は切ることができないし、親は子供のために自分をかけ、自分の一部として、独占しようとする関係もありましょう。それがいき過ぎ、親の失敗のために子供道連れの心中事件となつたり、大学の試験場まで、親がついてまわるといふ情景になるのでしょうか、このように見てまいりますと、現代の親子関係には、情の愛は、ことに豊かなのだが、理の愛が見えなくなり、子供をベツト扱いにする親と、子はそれに甘える関係をもっている。まことに大きな問題をかかえていると思いますが、皆さんいかがでしょうか。

心に残る育友会活動

副会長 片山 千代薫

やむなく常任委員をお引き受けし、それに夢中になって過しているうちに早や、五年がたちました。最初は、子供の延長ぐらゐの軽い気持ちで、役員になったのですが、やがて、自分の認識不足であったことに気づきました。

全く、子供の指導者の方々もですが、常任委員の苦勞は並大抵のものではありませぬ。自分の生活を犠牲にするものが多々あります。

私が一委員として携わつた五年間の育友会活動を振り返って見ますと、まず、思い出されるのは、町内子供球技大会の合併問題や練習場所の問

題解決に連夜遅くまで、駆けずりまわつたことです。

その他、生活補導に對する取り組み、各部主催の講演会、親子女子フットベースボール、学級対抗バレーボール大会、駅伝・バザー、三小火災の後のこと……。どれをとつても決つて息の抜けない重要な問題ばかりでした。そして、それらの一一つを解決して行くために、会長を中心に常任委員が一体となり、連夜協議を重ね、実行に移していき

ました。実行にあたっては、先生方や地区役員の方々をはじめ、数多くの育友会各位の積極

的な協力、参加があつて、それぞれ成功の中に終わることができました。そして、こうした育友会の活発な活動は更に新しい活力を生み、年々充実してきました。

育友会活動にとつて、子供の豊かな情操づくりと、健康な体力づくりの為に、いかに貢献するかが最大の課題であることは、いうまでもないことと思ひます。役員をすることによつて、私も曲がりなりに多くの素晴らしい人生を学ぶことができました。

三小育友会を卒業するにあたり、関係各位の方々の御指導、御支援を感謝しつつ、また、三小と三小育友会のますの御発展を祈念しつつ、筆を折ることに致します。

『さようなら』

お世話になつた三小

児童会長 御厨 宏 慈

六年前、胸をいっぱいにふくらませ、三小の門をくぐつてから六年間、ぼくにとつてあつというまに過ぎてしまひました。

六年間をふり返つてみると、笑いあり、けんかあり、ピン

タありなど、たくさん思い出がぼくの目に、次々にうかんできます。

立派にできた新校舎で、勉強することもできました。そして、何よりうれしかったことは、三小のお父さん、お母

さんが、バザーをして、そのお金で、今まで三小になかつた土俵場を作つて下さつたことです。吉田司家から行司の方をまねいての土俵開きの日のことは、ぼくの心の中に強く残ることでしょう。

三小でのたくさん思い出を心にいっぱいつめ、ぼくたちは卒業して行きます。『さようなら、お世話になつた三小。』

(3)

卒業生アンケートより 将来どんな仕事に…!

子どもたちは、自分の将来についてどのような気持ちを持っているのでしょうか。今まさに卒業の季節。今春の卒業生にアンケートを試みてみました。

▲アンケート▼

あなたは、将来どのような職業につきたいですか。

職業()

その理由()

▲アンケートの結果▼

男子(八十名)

なりたい職業

大工 7名

会社員 6名

パイロット 4名

漁業 4名

親のあとつぎ 4名

運転士 3名

整備士 3名

なし 25名

その他 24名

その理由

興味・趣味・特技

父のあとつぎ

外国へ行きたい

収入がよい

なし

その他

なりたい職業	保母	24名
	美容師	10名
	看護婦	6名
	喫茶店	4名
	なし	6名
	その他	25名
その理由	子どもがすき	24名
	髪をさわるのがすき	6名
	趣味	6名
	患者にやさしくしたい	3名
	おもしろそう	3名
	なし	12名
	その他	21名

男子のあげた職種は三十にも及んでいいます。これは、現代社会における価値観の多様化、あるいは混乱が、子どもたちにも微妙に影響しているのかも知れません。

このように考えると、女子よりも男子の方が、より社会のきびしさを感じとっているともいえます。

男の子、女の子

男女の性差は、このようなところにも表われてくるものです。

女子の希望職種の上位三つは、保母・美容師・看護婦で、人数的には四十名と、全体の半数をこえます。

理由とあわせて、これらの共通項をさぐってみますと、その底に「抱きこむ欲求」がひそんでいるように思われます。子どもをやさしくだき上げたり、患者を親切にいたわったりしてやりたいという気持ちがそれぞれです。髪をさわりたいという美容師希望も、幼い頃の人形遊びの延長線にあると考えると、やはり共通の欲求に根ざしているといえます。

女の子—女—母のイメージ

ジとしてのやさしさ、抱きこみ、包みこみというものが如実に現れています。

そのような目で見てみますと、男子にも、ばらつきはあっても、いくつかの共通項を探すことができます。

ひとつは創造、つくり出す喜びです。大工、ビルを作る作家、まんが家などは、形こそちがえ、同じ欲求と考えるとよいでしょう。

次に、機械との関わりがあげられます。整備士、エンジニア、無線技師などがそれです。

さらに、飛躍、はばたきがあります。パイロット、運転士、船員などは、その理由として、いろんな所へ行ってみたいからとしています。

漁業の希望は、この地区の地域性もあるかと思えますが、収穫の喜びといったものを感じさせられます。

男子の「飛躍」「創造」といった動的なふんいきと、女子のやさしいふんいきが、実に対象的にあらわれています。このように考えてみますと、文明社会の発達で対象となる職種は変わっていても、根本的な願望は不変である、と

親の願望

いえるかも知れません。

男子に、「親と同じ」と書いた者四名。他に、理由欄に「親が…だから」といった表現をした者もいますから、合計しますと十五名になります。

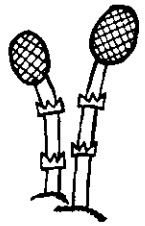
この傾向は、男子に集中しています。また、その職種はどうやら父親の職業や家業と推測されます。

幼い頃から、見慣れてきた職業をすんなり受け入れていたためでしょうか。

しかし、男子に集中していることを考えますと、子どもの側だけでなく、親の願望、つまり、「あとつぎ」としての期待が反映しているのかも知れません。

紙数の都合で、分析結果をくわしく紹介することができず残念ですが、ご家庭での話しあいなどの資料としてください。

また、皆様のご意見などお寄せいただければ幸いです。



想い出多い三小を後に!!

光陰矢の如し

栄町 成瀬 国春

「光陰矢の如し」島原市立第三小学校に二人の子供が入学して八年間、私が育友会役員として参加して三年間、ふりかえってみると、月日の経つのは早いものです。

回想にふければ、校舎の火事・新校舎の落成・バザー・相撲の土俵づくり・吉田司家から来校いただき、方屋開きはその機を得た私達にとって、一番印象に残る行動でした。

各部の活動や講演会、研修会による先生方や先輩、後輩

や会員さんとの交流、子供達とのふれあいなど、本当に自分の人生にとって有意義な時期でありました。

いよいよ子供も小学校を卒業します。小学校の育友会活動に別れを告げる日が来ました。浅学非才の私が無事任務を完了できたのも、諸先生や育友会皆様方のご指導ご協力による賜ものと深謝いたし、島原市立第三小学校、育友会

のますますの発展を祈念いたします。

別れ惜しい 育友会の友よ!!

新山東 福島 一美

月日の流れは早いもので、三小に転校して五年、右も左もわからない私が、役員をひき受け、皆様の足手まといになりながらも、皆様の暖かい愛情に包まれ、育友会活動にもいろいろ参加させて頂き、多くの方々とも知り合うこと

ができましたことを、嬉しく思います。

行事のある度に思い出されることは、会員の方々の取り組の素晴らしさに、頭が下がっている思いでした。これらの教えを生かし、皆様から頼れる、信じうる、暖かみのある人間

六年間を 振り返ってみて

六年P 中村 暁子

私が今、改めて六年間を振り返ってみますと、「慌しかったなあ」と感じられます。といえますのも、主人が県職員なので、三月

になると「転勤」ということが頭に浮かぶのです。と同時に子供の転校につながります。今六年生の子は、四つの小学校に通ったことになり

ます。子供が、一学期間は大変かとよ」といいますが、私もPTA等に行っても皆様に馴染むのは勿論、その地域性を

知ることも大事です。だからなるよう努力して行きたいと思えます。子どもが卒業するにあたり、まだまだ皆様から学ばなければならぬことが、山程あるのですが、残念なことにお別れです。でも、私だけは留年するつもりで、皆様からいろいろ教えて頂くつもりでおりますので、今まで同様宜しくお願い致します。

最後に、育友会の、今後の御発展を心からお祈りいたします。

十三年間の 三小とのふれあい

下川尻町 本田 キミ子

桜の花が舞うころ、長男の手をひき、胸をふくらませながら、第三小学校の門をくぐりました。ところが、昨日のように思い出します。

あれから十三年間三小には、長男長女次女と三人の子供が大変お世話になりました。末の子供がもうすぐこの三小を卒業して行くのかと思うと、親の私の方が何んともいえない淋しい気持ちになります。十三年間の内には、りっぱな体育館も出来、不幸にも火災にあいましたけれど、今では設備の整った教室校舎に変わり、それから諸先生、育友会役員の皆様方の御協力でお出来土俵場、本当に大変でした。しょうどうもありがとうございます。私なんか何もできなかったことを恥じる思いです。一昨年同窓会で、三小卒の友人が二十年ぶりに島原に帰って来たんです。その友達がいうには「私、浦島太郎になったみたい。」「何故」といいますと、白山がとれて三小周辺が変わってしまっているのにびっくりしているんです。外観は変わっていかもせぬけれど、三小の生徒は昔と全然変わりがなく、明るくのびのびした元気の良さ、素直な子供達と想っております。道徳教育のことでもいかに先生方が熱意を燃やしているかが、よく、うかがえます。これからはますますよい面を育てていかれる事でしょう。楽しかったフットボール。楽しかった大会いろいろと思いつく。涙が止まりません。お世話になりました校長先生、諸先生、育友会の皆様、長い間本当にありがとうございました。では、第三小学校の発展をお祈りいたします。

ら、PTAには極力出席することに努めました。その間、PTA或いは子供会の役員をしてきましたが、何もしないで子供を見る目と、役員等をして見る目とは、後者の方が良く見えるのではないかと考えるようです。主人の転勤で、島原二回、杵岐、長崎、五島と行きまして大変な半面、その土地で沢山のお友達ができます。沢山の先生にも出会います。子供も私も、沢山のお友達を得たことは、心の財産になっていくはずで、六年前に入学して三月に卒業する息子を思うと、心身共に成長したなあと思えます。

また、三月、主人の転勤はどうかなあと気になる今日此の頃です。

が ん ば



入学式の時母に手をひかれて登校した私たちを、にこにこ顔でむかえてくださった先生。私たちは多くの先生からいろんなことを、教わりました。

六年間で友達もたくさんできました。思い出もたくさんあります。一年生の時プールでなかなか目をあけることができなかったこと。

二年生の時友達と汽車に乗

思い出をありがとう

六年二組 谷 口 さおり

母に手をひかれて入学してきた一年生。かけ算の九九をぜんぶいえるまで、必死になんばった二年生。三年生にな

って組がかわり、友だちがたくさんできた。長崎見学で原爆資料館を見学して、原爆のおそろしさを知った四年生。千々石少年自然の家で、団体行動、生活のしかたを身につけた五年生。そして、最高学年として、何ごとにもがんばろうとした六年生。また、六

六年一組 八 木 ルミ



って布津の先生の家へ遊びに行つたこと。

三年生の時初めて組がえでどんな人といっしょになるのかなあととても不安だったこと。その他にも、長崎見学千々石少年自然の家、熊本の修学旅行と、楽しい思い出ばかりです。

でも悲しいこともありました。

三小が火事になって校舎が燃えたことです。しかし、寄せ

年間の最後の思い出となった、楽しかった修学旅行。

この六年間、楽しい思い出ばかりでした。つらいことや、くやしいこともありましたが、でも、やっぱり、この三小の教室には、私たち、一人一人の楽しい思い出がいっぱいあります。運動会や体育の時間、土

をかけた運動場。水しぶきをあげたプール。二千メートルがなばって走ったマラソン大会。二重とびや交さとび、あ

書きや、いろんな所からの見舞い金をもらいどんなにか、はげまされたことでしょうか。六年間の楽しかったことが目を閉じるとうかんできます。こんどは、中学生の三年間に向かつて、はりきって出発したいと思います。最後に一言、先生方、ほんとうにありがとうございます。



やとびの練習にはげんだなわとび大会。こんな楽しい思い出は、生涯、忘れることができないでしょう。

今まで、私たちを導き、育ててくださった先生方、いつも楽しい行事を作ってくれた児童会役員の人たち、私たちにたくさん思い出をありがとう。

私たちが学び、育つた三小よ、さようなら。中学校へ行ってがんばります。たくさん思い出を、本当にありがとうございます。

私の思い出と 将来のゆめ

六年三組 佐藤 聡子

私の思い出はたくさんあります。一番、楽しい思い出は、やっぱり、「修学旅行」のことです。とくに、旅館での夜は、三時間ぐらいいしかねむれませんでした。おとなりのへやで、ランプをしたり、話をしたりして、とっても楽しかったです。

それから、こわかったことは、学校が終わって、公園に行つて、ブランコに乗つていたら、変な顔をしたおじさんが歩いてきて、いきなり、「べ

将来の夢

六年四組 迎 雄一朗

ぼくは、一年生のころから、いろいろな将来の夢がありました。二年生のころまでは一年生のときと同じでした。

しかし、三年生の二学期の時から、なぜか宇宙のことに興味を持ち始めました。それは宇宙についての疑問があったからです。宇宙というものは、いったいどんなものだろう。どれくらいあるのだろう。と思つたからです。こんなむずかしいことは、現在でもわからないことだが、ちょっとした知識だけでも覚えていた

いな、と思つたからです。

「ロペロバー」をしていったことです。さて、私の将来のゆめです。それは、きつき店屋さんになることです。お客様に失礼がないように、清潔なお店にしたいと思つています。もし、実現できたら、よろしくお願ひします。

もし、きつき店屋さんが失敗したら、お菓子屋さんでもいいなあと思っています。もし、それもうまくいかなかったら、外国に行つて、ラーメン屋さんを開いてみたいです。

どれも、私の楽しい将来のゆめです。

その中でも特に宇宙人などには、とても興味がありました。四年生の時の夢は天文学者になることでした。

五年生の時は、自分から星座を見に行つたりして星座を覚えめました。

六年生では、気象などにも興味を持ち始めました。台風は、なぜ発生するのか。なぜつゆは六月ごろなのかという疑問があったからです。また、よく自分で紙に、天気図などを書いたりしました。

ぼくは、あまりはつきりした将来の夢はありませんが、まだ、中学、高校、大学……とあります。将来のことは、これから、自分自身できりひらいていこうと思ひます。

★講師紹介

東京大学で心理学を専攻され、その後、佐世保児童相談所において、二十数年、多くの非行少年たちの指導にあたり、また、そのかたわら、三才児検診の指導者として、三千組あまりの親子と面談されるなど、豊富な経験をお持ちです。また、開成学園にも園長として在職され、現在は長崎県東彼・北高福祉事務所に籍をおかれ、ご活躍中です。尚、講演当日は、健康のすぐれない中を、無理してきていただきました。

★講演要旨

お母さんたちの子どもたちへの願いは、ただ一つ、立派な子どもに育てたいということですね。結論をいえば子どもに愛情があり、好きであればそれだけでよいと思います。ごく普通の、のんびやかなお父さんで、ガミガミ屋のお母さんでいいわけです。指導者と言えども、すべてを知っているわけではありませんが、結局は、自分たちのこと、特に子どものことですが、自分で考えていく以外ないのではないかと思います。きょうは、この講演の前に皆さんからいただいた質問に対する感想を述べ、私の言いたいこと、たいせつなことは最後にまとめてお話しします。

1 質問について

「共働きのため、家は空家同然です。そのため、子どもたちの集まり場所となり何をしているか心配です。」
結論を先に言えば、子どもが何をしたいかが信頼できるように育てることです。子どもが同じ場所に集まるのが悪いことだという考えもまちがいで、ちょうど、おくさんたちの「井戸端会議」のように子どもは子ども同士で集まりたがります。もし集まることに不安があれば、近所の人に、自分が留守のとき、何をしているか、ちょっと声をかけてもらうことです。何でもかんでも一人で悩むところに問題があると思います。また、近所に適当な人がいなければ、学校の先生に相談することです。もっと先生と密着し、また、地域が連帯しないといけないのではないのでしょうか。

「勉強する気力を失くした子どもに習慣をつけるためには、どうすればよいでしょうか。」
子どもというものは、あまりり勉強に気力を示さないのが普通です。他のどんなことでも気力を示さなければ問題ですが。ただ言えることは、勉強することには、それなりに意味があるわけですから、決まった時間位はできるような子どもに育てなければいけないと思います。

講演

「子どもに、今、何が必要か」

元開成学園長 森下軍一先生

「テレビを見ないと勉強できない子どもが・・・。」
テレビを見ながらということとは、勉強していないということですね。「勉強しよたら、テレビは見るな。」と言

ていても、ある程度人間ができあがってくると、自分の言いたいこと、したいことが出てきます。その最初が三才です。親に反抗するというより、自分のしたいことを主張しているわけです。三才の反抗を出発点として、後、顕著なのが、思春前期(中二・三)です。第二反抗期ともいうようですが、男が男になり、女が女になることを自覚してくるわけです。本人にしてみれば、精神的に大変な時期なんです。反抗期というのは、何も三才、中学生と決まっているのではなく、一年一年、成長した反抗期をしていくわけです。小学校二年ごろは、「おしやべり反抗期」といって、「ああ言えばああいう」時期なんです。こういう相談は、三才児検診などでよくあるんですが、私はそのたびに、「ああ、あなたはいいお子さんを持ったですね。」といっています。

「一年生の女の子ですが、この頃反抗的なんです。一年生位で反抗期がくるのでしょうか。」
親に反抗しない子どもは、見えてだめですね。というのは、自分の意志がないからです。どんな子でも、お母さんが、いくら愛情をもって育

ていても、ある程度人間ができあがってくると、自分の言いたいこと、したいことが出てきます。その最初が三才です。親に反抗するというより、自分のしたいことを主張しているわけです。三才の反抗を出発点として、後、顕著なのが、思春前期(中二・三)です。第二反抗期ともいうようですが、男が男になり、女が女になることを自覚してくるわけです。本人にしてみれば、精神的に大変な時期なんです。反抗期というのは、何も三才、中学生と決まっているのではなく、一年一年、成長した反抗期をしていくわけです。小学校二年ごろは、「おしやべり反抗期」といって、「ああ言えばああいう」時期なんです。こういう相談は、三才児検診などでよくあるんですが、私はそのたびに、「ああ、あなたはいいお子さんを持ったですね。」といっています。

「子どもに、今、何が必要か」
「学校での一日のできごとを子どもにどのようなふうに聞いたらよいですか。」
わざわざ聞く必要はないと思います。ただ注意することとはなしかけてきたときに、「ああうるさい。」ということはやめてほしいですね。対話が大切だという気持ちはわかれますが、対話をするとか、しませんが、そんな物理的な現象が問題ではないんです。お父さん、お母さんが、本当に子どもを愛しているか、考えているかということなんです。

「子どものほめ方、しかも方はどうしたらよいでしょうか。」
とくにきまりはないんです。ただ、考え方の基本はあると

「テレビ等で、非行児たち
の『先生が悪いから』とか
『親が悪いから』とかいう
声を多く耳にしますが、私
の親が悪いか、先生が悪い
か、何も言いません。何を聞
いてもだまっています。しか
し、結局は、九九%までが、
親に原因があります。市内の
ある中学校に十人の『暴力団
がいたとすると、十人の子ど
ものすべてがみんな、家庭が
どこかまちがっています。こ
のことは、二十数年間、非行
児を扱ってきた、断言しては
ばからないことです。家庭環
境が、子どもに悪いことをや
らざるをえないような精神状
態にしてしまっているのです。
『子どもを育てるためのす
ばらしい家庭とは……』
思っています、中々理想通
りにはいかなないものですね。
家庭というのは、子どもを非
惨な状態にしないということ
が何よりもたいせつです。少
々、父ちゃん、母ちゃんが気

にいらなくても、子どもだけ
は幸せにしてやる責任が親に
はあると思います。私たちが
結婚するのは、そもそも、次
代の子どもを作るためです。
花が虫をよんで、おしべとめ
しべを交配されるために、命
がけて、美しい花を咲かせて
いるように、人間も次の世代
をはぐくむために、ものすご
い努力をしているのです。少
々気にくわないからといって
夫婦別れをするのは、一番、
反道徳的な行為だと思えます。
性教育についても、その根本
は、両親がちゃんと家にいる
という事です。男と女とい
うものは、こんなものだとい
うことを子どもは、生活の中
から、親の後姿を見て感じと
っていくものなのです。

さて、なぜ、まずお母さん
の愛情かという点、生後間も
ない赤ちゃんは、よそのお母
さんと自分のお母さんの声や
心臓の音をちゃんと聞きわけ
るということですね。お腹の中
にいたときから、赤ちゃんは
お母さんとのつながり、そ
れ程、密接につながっている
わけですから、三才の反
抗期までは、赤ちゃんの心の
安定を得るために、共働きの
お母さんもおっぱいをやっ
り、だっこするなどして、で

**2 子どもを立派に育てる
ためには**

①お母さんの愛情が第一
お母さんが子どもを好きで
あることが第一条件です。
その次に、お父さんがお母さ
んが子どもの教育に専念でき
るようにしてあげることです。
月給を家に持ってこなかった
り、よそに女を作ったりした
ら、とてもお母さんは、子ど
もの教育どころではありませ
ん。そのような意味において、
お父さんは、一家の大黒柱と
しての責任は重大です。



さるだけ接触（スキンシップ）
を多くしてやることです。お
っぱいは赤ちゃんを育てるた
めにあるわけで、お母さんな
しでは赤ちゃんは決して育た
ないことを再確認していただ
きたいと思えます。

②愛情の次に「しつけ」が
愛情だけでなく、しつけも
たいせつです。赤ちゃんがよ
ちよち歩きを始めるころから、
もうしつけは始まるころです。
です。歩ける子には、たとえ、

ことばが通じなくても自分で
ほしいものは取りに行かせる
ぐらいの気構えでいてほしい
と思います。ほしかつたらこ
っちまできなさい。そういう
しつけが必要で、自分で
できることは、自分でさせる。
他にむずかしいことを考える必
要はありません。少し大きく
なったら、家の中で役割を持
たせます。たとえば、牛乳や
新聞を持ってくるぐらい、三
才でもできます。それをしな
いと朝ごはんを食べさせない
というぐらいいにして、約束を
したことは守らせることでは
よく、お母さんたちの中には、
子どものすることはないとい
いますが、それは、うそです。
さがせばいくらでもあるはず
です。家の中に一緒に住んで
いるからには、何か一つでも
仕事をさせて、家族の一員と
しての義務を果させることと
す。

さて、「三つ子の魂、百ま
で。」といいますが、しつけ
というのは、子どもが小さい
ときにやりそこなったらもう
だめかというところ、そうでは
ありません。最近の例でこんな
ことがありました。
生活保護（母子）家庭
母：四十二才。ぜんそく持ち。
二度の結婚に失敗。子ども
もは、異父兄弟。
長男：小五。寝小便をする。
次男：小三。やさしい。

小五の長男が母親に暴力。
理由として、朝食を作って
くれなかった。（ぜん息で）
こづかいの値上げをしない。
毎晩、寝小便をしないように
起こされるなど。
詳しく調査し、次のような
指導をしました。
○弟だけをかかわるなど、
差別しない。
○前の晩から、朝食の用意を
しておく。
○寝小便のために起こすこと
は逆効果なのでやめて、い
つも乾いたふとんに寝せて
やるようにする。
○こづかいの値上げは認めな
い。一、二年すると、次の
ような変化が見られました。
○弟をかかわるようになり、
毎晩、ふとんをしいてやる。
○お母さんの代わりに買い物
に行くようになる。
○寝小便がなくなる。

以上のように今まで、手の
つけられなかった小五の男の
子が見えがえるように立ち
直ってきたわけです。
「三つ子の魂、百まで」と
いいますが、小中学生までは、
どんなに非行に陥った子ども
でも、まず、お母さん、そし
て、お父さんの愛情があれば、
子どもは、必ずよくなるもの
だということをお話して、私
の話を終わりたいと思えます。

料理講習会

保健給食部 山口ヤス子



市役所より三名の栄養士の方々をお招きして、六年生と一年生のお母様方による講習会を聞きまししたところ、四十名近くの方に、参加して頂き、また立派に出来た新校舎の家庭科を、心よくお貸し頂きまして、なごやかな講習会でした。校長先生、会長、副会長、給食部の本部長さんなど、多数の男性方にも参加して頂き、試食もしていただきましした。また、会長、副会長には、玉ねぎの皮むき、レタスを一枚づつはがして洗ってもらったり、慣れない手

専門部一年間を省みて

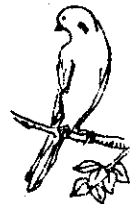
付きで大ハッスルをしてもらい、試食後の校長先生のご挨拶も大変ユーモアたっぷりでしたので、お母さん方の満腹になったお腹も、からっぽになつたのではないのでしょうか。「教員生活三十数年して来たけど、お母様方による料理を学校で食べたのは、はじめて」

：とか、給食部の活動もこのような活動を行なったのは、今回が初めてですが、いろいろな手続き、準備、会場の件等、校長先生はじめ、教頭先生、家庭科の専科の先生、事務の松尾さんなど、多数の方々にお骨折り頂きましてありがとうございます。保健給食部は女性だけじゃない専門ですの、五十七年度には男性もどんどん入ってました。給食だけでなく、保健面での活動をされることを望みます。

最後になりましたが、会長さんはじめ、部員の方々にも大変御協力頂き、五十六年度が終わることができました。ありがとうございます。

会員の皆様の協力に感謝

生活部 古井久輝



本年度、生活部の活動も皆様のご協力により、無事消化することができました。年間行事でありました生活指導員の研修も補導員の方々より、白山地区の子供の生活実体を知らることができ、それに伴ない毎月第二土曜日を町内巡視日として決め、町内巡視と危険箇所の点検など町内の方々には、ご苦労かけたことと思えます。校外指導におきましては、大人の人から注意指導を受けても素直に聞かない、大型店でのゲーム場への出入

時間が経つのも忘れて討議されました。この町内訪問、一年一回の良い機会です。出席された全員の方から、一言でも良いから意見を言われたらもっと盛り上がったのではないかと思います。また、話し合いの時間にも都合がありますので、始まる時間をもう少し守っていただけたらと感ずることも、しばしばでした。三月に入り部活動最後の仕事として、三日十日まで、初市巡視も済ませることができました。何もわからないまま、一年間無事過ごすことができたのも、会員の皆様のご協力のおかげだと感謝しております。一年間どうもありがとうございました。

ペンキ塗りに追われて...

環境部 高原寿一



昭和五十六年度も、残すところあとわずかとなりました。今年度、育友会は土俵建設、学校は道徳教育研究発表と、いろいろ行事も御座居ました。が、私の専門部活動は、ペンキ塗り作業に終わり、テニスコートの整備等、皆様の御要

望に添えず、ただなんとなく一年を過ごしたという感じが致し、大変申し訳なく思っております。さて、今後の問題ではあります。が、「公民館の早期移転」「一年生の教室・図書室の改築」など、予算措置の必要な

ことばかりでなかなか困難と思われまますので、一日も早く実現する為にも、学校・育友会は勿論のこと、地域の方々にも御協力を願って一体となり、取り組んで行かなければならないと思っております。この一年間の皆様方の御協力に感謝申し上げます。簡単ではございますが、反省と希望を述べさせて頂きました。なお、今後共宜敷く御指導下さいますようお願い致します。

会員相互の親睦

いっそう深まる

体育部 山下利秋



三学期も残り数日となり、今年度の体育部の行事も、市連P主催の駅伝大会を最後に、無事終了しました。二月七日開催の予定でしたが、皆様御承知の通り流感による学級閉鎖、多数の欠席者の為に、三月十四日に行なわれました。一年間をふり返ってみますと、一つの行事に対して部会の開催、監督会議、準備、そして当日の大会と会員皆様に満足

大会、市連P主催のバレーボール大会、フットベースボール大会等、会員皆様には大変迷惑をおかけ致しましたが、体育部の趣旨である児童の健全育成を図り、会員相互の親睦を深めることに少しでも、役立てたら幸いです。各行事が無事終了できましたことは、会長はじめ、代議員の方々、会員各位、校長先生と諸先生方の御協力の賜ものと、深く感謝致しております。本当にありがとうございます。

四月初め、いろいろ計画しましたが、「あっ」というままに三月になってしまいました。交通部としては、自転車点検を七月二十日に、自転車屋さんの御協力を得て行ないました。登下校の際、子供達の指導にあたって下さった各町内代議員、責任者、また、役員の方々本当に御苦労様でした。お陰様で一件の事故もなく、終わることができ

自転車点検に協力ありがとうございます

交通部

岩本宏三

たことを深く感謝致します。ライト、ブレイキ、反射器を重点的に一台一台を点検して頂きました。

点検の結果は
 総合数 三百二十二台
 合格車 二百十八台
 不良車 百四台
 でした。

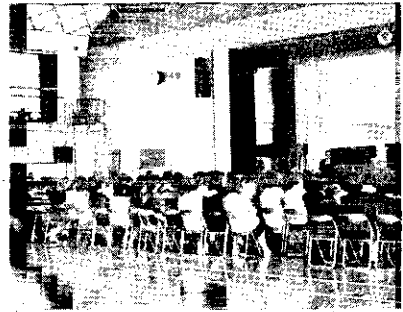
また、育友会員の皆様、毎月五日の交通指導、誠にありがとうございました。

「学級部年間反省」

学級部 岩崎 曉子

学級部としての年間行事目標であった、学級代議員研修会、育友会親睦（バレーボール大会）、講演会、以上三点無事活動を終えることができました。これも会員の皆様の御協力のお陰と感謝致しております。代議員研修会には、全部の学級代議員さんが出席され、加藤先生から学級役員の任務集会を持ち方、司会者の心得それに歌をまじえながらのレクレーションのもち方等、いろいろ指導して頂きました。初めて代議員さんになられた方も、とても参考になられたことと思います。次に、今回で四回目を迎え

た学級対抗バレーボール大会も、大勢の参加者で盛大の内に済み練習等により、クラスの和も深まったことと思います。試合当日には先生もまじえ、子供達の応援、珍プレーに笑いながらの、勝敗はぬきにした楽しい一日でした。授業参観も大切なことで、その後の懇談会において、親同志の意見交換も、子育てのためには、大いに役立つと思います。講演会においても話の中で何か一つでも自分の身につけることができれば幸いです。最後に最近耳にしたことで、心に残る言葉を一言「親でな



「育友会文庫が課題」

教養部

原口 芙蓉

三学期も残りわずかとなりました。教養部の今年度の活動をご報告致します。一、保健給食部と共催で、左賀泉嬉野町の嬉野小学校を視察しました。育友会活動、専門部活動の活動状況や運営の仕方について、活発な意見交換がなされました。二、生活部と共催で、町内懇談会を行いました。今年度は夫婦同伴での出席が増え、家庭における教育、しつけは父親母親ともどもに協力して取り組んでいかなければならない問題であるということを強

く感じました。三、学級部と共催で、教育講演会を行いました。子供をとりまく環境が、目まぐるしく移り変わっている現在、家庭教育がいかにあらねばならないかについて、森下軍一先生に講演して頂きました。育友会文庫の件は、まだ問題点も多く、地域ぐるみの活動ということもあり、来年度の課題にして頂きたいと思っております。最後に、部員の方々、会員の皆様のご協力により、各行事を無事終了できましたことを感謝申し上げます。

町内育友会が一丸となって

坂上町 阿比留 寿 海

坂上町の子どもクラブは、十年位前から崩山町の子どもクラブと合併して、市のソフボール、フットベイス、スポーツ大会に出場しています。諸先輩育友会役員の方々が、町の町内会、町内育友会の横のつながりを良くし、子どもたちの育成に励んでこられました。坂上町の屠殺場跡の空地を、町内会役員の松本博様が市役所より借り受け、ホームグラウンドとして使用しています。空地は荒れ放題でしたが、毎年町内育友会、子ども会総出でグラウンドの整備をしており、慣れない作業に親子揃って作業した結果、りっぱなグラウンドができました。これも、子どもたちのために

特別養護施設

『眉山』を訪ねて

緑町 藤井 リワ



夏休みの行事の一つにスポーツ以外の何かをやってみようと思つていた老人ホームを訪ねることに。廃品回収で得たお金の一部で、折紙を買った。玄関で所長さんから淋しい思いをしておられるので、

話の相手をして上げて下さいとのことでした。皆張り切つて病室にむかいましたが、最初身体が自由にできない人達の部屋で「こんにちわ」と言っても言葉をかえすことのできな

勝をしていますが。しかし、私は勝負より普段の練習によって人間性を作り又、人間として必要なルール等を小学生の時から養うことを目的としています。しかし、指導して感じてもらうのは……

時々、子供達の練習を見に来てもらいたい。(子供達の日常生活と違つた面を見ることが出来る。)

時々、親と一緒に練習(遊ぶような気持ち)してもらいたい。練習に来る子供達の顔ぶれが決まらなかつたので、もっと参加してもらいたい(試合に出る為だけではないので二月からは坂下町の子供も遊びに来ています)今後、子供達のために、学校では先生が!! 家庭では親達が!! 町内では育友会、町内会が!! 一丸となって頑張ってもらい、私も少しでも手助けができるように勉強し、頑張つていきたいと思つています。

皆さんの声の窓として!!

広報部 馬場 武 弘

今年度の広報部は、幅広い会員の声を率直に受け入れた、と各学年から一名づつの部員をお願いしました。坂庭先生を中心し七名でスタートし、十月から大隅先生を加え、一段と活気ある部になりました。この一年間を振り返り多くの方々からの貴重な原稿を頂き乍ら、意にそうすることができました。どうか、昨年からの道徳教育に関するいろいろな研究、指導がなされて参りました。三つの生活目標「ハクサン運動」として家庭での実態調査を実施、数字によつて解りやすく掲載しましたが、ご参考になりました。また十一月には県内外の先生方をお迎えして、道徳教育の研究と実践に取り組んで来られた成果を発表されました。その研究報告「学校と家庭が一体となつて」と題して研究主任の梅林先生にご寄稿

編集後記

卒業、進学おめでとうございませう。本年最終号をお届けします。今年の特集号を含め、五回の発行になりました。この一年間貴重な原稿をお寄せ下さつて、広報紙づくり

にご協力頂いた方々に心から厚くお礼申し上げます。ご卒業、ご進学される会員の皆様には、これまで同様にAの連帯に立って、さらに引き続きご利用下さつてご指導ご鞭撻下さいますようお願い申し上げます。(広報一同)